

2021 春季生活闘争・妥結情報

2021. 3. 19 — 第 4 号 — 連合北海道 春季生活闘争本部

2021 年春季生活闘争 第 1 回回答集計結果について

連合本部は、2021 年春季生活闘争につき、3 月 19 日（金）午前 10 時時点で取りまとめた回答集計について、次のとおり発表した。

○平均賃金方式での賃上げは、中小組合が大手組合を上回る。

平均賃金方式で回答を引き出した組合の加重平均は 5,563 円・1.81%（昨年同時期 278 円減・0.10 ポイント減）となった。賃上げ分が明確にわかる組合の定昇相当込み賃上げは、6,607 円・2.20%（同 18 円増・0.04 ポイント増）で、昨年同時期を上回った。

いずれも、300 人未満の中小組合が 1,000 人以上の大手組合の賃上げ率を上回った。

○有期・短時間・契約等労働者の賃上げは、一般組合員（平均賃金方式）を上回る。

加重平均では、時給で 24.61 円（同 5.88 円減）、月給で 4,976 円（同 734 円減）となった。時給の引上げ率は概算で 2.35% となり、一般組合員（平均賃金方式）の 1.81% を上回った。

連合北海道の 2021 年春季生活闘争は、第 1 先行組合の集中回答ゾーンのヤマ場を終えて、回答集計を行った

妥結報告組合は、14 組合・11,230 人、昨年同時期（2020 年 3 月 13 日）と比べて、2 組合・674 人減の回答引き出しとなった。（3 月 19 日 12 時現在、公表不可組合を含む）

回答引き出し組合が少数であるため単純には比較できないものの、月例賃金の加重平均は、妥結額 6,934 円・2.57%（昨年同時期比 604 円増・0.19 ポイント増）となり、昨年同時期を上回った。300 人以上では、昨年同時期に比べ 638 円増であったが、300 人未満では▲1,906 円と大幅な減少となった。

来週からは、中堅・中小、そして地場組合の交渉がヤマ場を迎える。連合北海道は、構成組織及び地域協議会と緊密に連携して、処遇改善に全力で取り組んでいく。

【組合規模別賃上げ状況 2021 年 3 月 19 日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込)	昨年比
300 人未満	6 組合	416 人	2,632 円(*****)	4,538 円(2.51%)	▲1,906 円(****)
300 人以上	8 組合	10,814 人	7,109 円(2.57%)	6,471 円(2.38%)	638 円(0.19)
計	14 組合	11,230 人	6,943 円(2.57%)	6,339 円(2.38%)	604 円(0.19)

* 300 人未満の妥結率について、集計可能なデータがなかったため記載をしております。



◎2021 年春季生活闘争北海道集計へのエントリー未報告の産別・地区ユニオンは、至急報告をお願いします。

◎要求・回答・妥結情報を連合北海道 2021 年春季生活闘争本部までお知らせ下さい。
担当：山田・勝又・小野寺・渡辺（TEL:011-210-0050 FAX:011-272-2255）